



自衛隊栃木地方協力本部

大田原産業文化祭で広報展

～2日間で10万人！大規模イベントで自衛隊をPR～



大人気の軽装甲機動車。制服試着してポーズ



無料配布されたウエットティッシュ



家族会員（千保氏）の募集支援の様子
（高等工科学学校概要説明中）



相談員（稲土氏）の募集支援の様子

「今後も、様々なイベントに参加し、地域の理解を広げるとともに、志願者獲得に繋がってきたい」としている。



なりきって敬礼！

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、11月4日（土）・5日（日）、大田原市美原公園で実施された「第35回与一の里 大田原産業文化祭」において中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を実施した。

同文化祭は、最先端技術の紹介や模擬店、イベントなどが行われるなど、2日間で延べ10万人の来場者が訪れる県北地区最大級のイベントである。

広報展では、軽装甲機動車の展示、制服試着及び装備品のタペストリー展示が行われ多くの来場者で賑わい、「軽装甲機動車を目当てにイベントに来ました！とても楽しみにしていたので、見て触ることができてうれしいです」と、夢中で写真を撮っている来場者や、「コラボして写真を撮らせてください！」と申し出るイベント出展者などの人々が集まり人気を博していた。また、大田原市役所による自衛隊の試験日時が記載されたウエットティッシュの無料配布、自衛隊家族会大田原支部、大田原市役所による自衛隊の試験日時が記し、協力団体一丸となって自衛隊のPRにあたり、地域に根ざした広報を具現化した。特に自衛隊家族会員から話を聞いた来場者の中に、「高等工科学学校を受験してみたい」との話もあり、未来あふれる貴重な人材確保へ大きく前進した。



献血募集中の赤十字ライオンズクラブの皆さんとコラボ